

大会宣言

尼崎労働基準監督署管内における労働災害は、関係者のたゆまぬ努力により、長期的には減少傾向にあるものの、本年の死亡労働災害は四名と、昨年的一名を大きく上回った。休業四日以上 の災害についても、昨年と比して増加しており、五〇〇名近くの労働者が被災している。

一方、長期的に減少傾向にあった兵庫県下の労働災害も、本年に入り、死亡労働災害が昨年 に比して大幅に増加していることから、過日、兵庫労働局より「緊急死亡労働災害防止対策要綱」が示され、死亡労働災害撲滅に向けての緊急な取組みを行うことが要請されてきたところである。

労働衛生面では、健康診断における有所見者の増加、仕事や職場生活に関する強い不安・悩み・ストレスを感じる労働者が急増するなど、労働者の健康確保対策が急務となっている。

経済情勢は持ち直しの兆しはあるものの、雇用環境は依然として厳しく、企業における労働災害防止活動の停滞も懸念されるところである。

このような状況の中、第十一次労働災害防止計画の三年目として、トップの決意表明、リスクアセスメントの実施、メンタルヘルス対策の促進など、「働く人の安全と健康を最優先する」ことが強く求められている。

「人間尊重」という崇高な理念のもと、我々は本大会を契機に全ての関係者が心を新たにし、「安全で健康・快適な職場づくり」に向けて全力で邁進することをここに誓うものである。

右、宣言する。

平成二十二年十二月二十四日

平成二十一年度尼崎地区年末安全衛生大会